

## 「米子市障がい者支援プラン 2024」の取組について

令和 6 年 3 月に策定した「米子市障がい者支援プラン 2024」（以下「支援プラン」という。）における、令和 7 年度 of 取組状況は次のとおり。

### 1 第 2 期米子市障がい者計画

#### (1) 安心・安全な生活環境の整備

##### ○米子市居住支援協議会の設立

住宅確保要配慮者（障がい者、高齢者、低所得者等）の民間住宅への円滑な入居を図るため、市や居住支援法人、不動産関係団体、福祉関係団体が連携し、住宅確保要配慮者や民間賃貸住宅の賃貸人に対する情報の提供等について協議を行う会。

令和 4 年度から存続していた高齢者・障がい者居住支援会議から移行し、令和 7 年 10 月 21 日設立総会を開催。同年 12 月 24 日には高齢、障がい、孤立者の各部会が合同部会を開催し、各機関の役割や具体的な連携方法等を共有しあう研修を行った。

##### ○あんしん賃貸支援事業の活用

精神障害者の賃貸住宅・グループホーム等への入居に向けた支援や入居後の支援を行った。また、住まいの見学の同行、退院前等の関係者会議に参加、他害行為等のトラブル時の相談対応、保証人がいない者等の住まい探しについて、あんしん賃貸相談員等の居住支援に係る制度の活用を行った。

##### ○ヘルプマークの配布

- ・令和 7 年 4 月～令和 8 年 2 月実績

	ストラップ	バッジ	カード
配布数	147 個	21 個	8 枚

- ・精神や知的障がい、内部障がい等のある方が多く利用されている。

#### (2) 情報アクセシビリティの向上と意思疎通支援の充実

##### ○「目で聴くテレビ」の放映

手話の普及啓発のための取組として、令和 6 年度に手話と字幕の番組「目で聴くテレビ」の専用受信機「アイ・ドラゴン 4」を 1 台購入し、本庁舎 1 階マイナンバー窓口先の大型テレビに設置の上、令和 7 年 12 月から毎週火曜日と木曜日の日中に放送されるニュース番組の「リアルタイム手話放送」を放映。

### ○米子市議会における手話通訳及び字幕表示の導入

米子市議会では、令和8年3月定例会本会議からテレビ中継に手話通訳を、インターネット配信には手話通訳及び音声A Iの字幕表示を試行的に導入した。  
また、議場傍聴席においても大型モニターにて手話通訳及び字幕表示を表示することとした。

## (3) 安心・安全のための防災、防犯等の推進

### ○個別避難計画の作成

- ・令和7年度までに市内全地区の対象者へ個別避難計画の作成同意調査票を送付済み。作成を希望した方について個別避難計画を作成した。
- ・計画作成にあたっては、作成対象者に希望調査を行い、希望した方に対して順次調査を行っている。
- ・事業を進めるなかで、希望調査に対する回答がない方（無回答）や計画作成を希望しない方（不同意）が多数存在するため、当市においては作成率が低調となっている面がある。
- ・令和8年度以降、無回答の方や不同意の方に対してアプローチを行い、計画作成を更に推進していくこととしている。

(実績)

	R4	R5	R6	合計
個別計画作成数	40件	110件	137件	287件

※土砂災害警戒区域に居住する対象者については、全員の個別避難計画を作成済

### ○福祉事業者との連携の取組

避難行動において、特に介助を要する対象者を支援するため、市内福祉事業者とショートステイの緊急受入れにかかる協定を締結した。

※協定締結法人 法人（令和8年2月現在）

高齢者関係 6法人

障がい者関係 4法人

※個別避難計画において協定締結施設へ避難することとしている者

11名（高齢者6名+障がい者5名）

## (4) 差別の解消、権利擁護の推進及び虐待の防止

### ○あいサポートメッセンジャーについて

障がい者支援課において、あいサポートメッセンジャーを1名増員し、3名体制とした。

### ○本市の虐待相談に対する対応

	R6	R7
相談件数	18件	8件
認定件数	3件	6件

- ・昨年度に比べて相談件数は減っているが、認定件数は増えている。

### ○成年後見制度の取組み

障がいのある方の権利擁護に関しては、市の中核機関である米子市総合相談センター「えしこに」が担当し、「西部後見サポートセンター うえるかむ」と連携を図りながら、取組みを行っている。

令和7年度も、成年後見制度の利用に向け作業中のケースがある。

## (5) 自立した生活の支援・意思決定支援の推進

### ○基幹相談支援センターについて

相談支援専門員等からの困難事例の相談に対応した。

センター業務の円滑な実施体制構築のため、市内社会福祉法人から出向により相談支援専門員1名を受入れ、業務を実施してきたが、当初予定していた、障がい者支援課職員のセンター専任化については、課内職員体制の問題などのため、実現することができなかった。

このことが、「総合的・専門的な相談支援の実施」、「地域の相談支援体制の強化の取組」などの実施に影響し、十分な対応が行えていない状況となっている。

### ○地域生活への移行について

- ・障がいのある方の親亡き後の生活や、高齢化、重度化する障がい者及びその家族の地域生活を支援するため、地域生活支援拠点等コーディネーターを配置し、事業ガイドラインの策定、拠点事業所の充実に向けた働きかけを行い、体制整備を進めた。
- ・従来、基幹相談支援センターで行っていた「地域移行・地域定着の促進」の取組を、地域生活支援拠点等の機能の中に位置づけ、地域生活支援拠点コーディネーターを中心に実施している。
- ・月1～2回の頻度で精神科病院を訪問し、退院支援委員会、支援会議に参加。  
※退院実績 3名（～令和7年11月末）
- ・定期的に障がい者支援施設への訪問を実施し、利用者と面談を実施。

## ○児童発達支援向上研修の開催

目的：実地見学及び意見交換、保育士を対象とした研修を通し、インクルーシブ保育への理解と実践力を向上させるため。

開催日時：令和8年2月2日

講師：福岡 寿氏

実地見学及び意見交換：東こども園及び児童発達支援センターあかしや

研修参加実績：計45名（市立保育園及び市内民間保育園等の職員）

## (6) 保健・医療の推進

### ○精神保健医療福祉体制の整備に係る事業

- ・精神に障がいのある方を支援する関係機関の連携強化や情報共有のため、保健所等が実施する保健・医療・福祉関係者等による会議に参加した。（参加した会議名：精神障がい者地域移行推進会議、依存症対策連絡会、高次脳機能障がい支援普及事業関係者連絡会、西部障がい者自立支援協議会、ひきこもり支援会議及び連絡会、支援会議・重層的支援会議）

### ○普及啓発に係る事業

- ・精神疾患や精神障がいに対する地域住民の理解を深めることを目的とした住民向けの講座として、こころの健康講座を6回実施した。
- ・関係者向けの講演会として地域支援セミナー、基幹相談支援センター主催の勉強会、相談支援専門員向けの研修を実施した。

### ○当事者、家族等の活動支援及びピアサポートの活用に係る事業

- ・在宅療養中の精神障がいのある方の社会参加促進を目的とするレクリエーション活動として、こころの広場（デイケア）を2か月に1回実施した。
- ・こころの健康講座の中で、保健所と連携しピアサポーターの講演を取り入れた。

### ○地域移行・地域定着のための支援

- ・精神障がいのある方の退院に向け、地域の社会資源等の受入れ体制を整えるため、地域の福祉サービス等の利用機会の提供等を通じて、退院及び地域生活のための支援を行った。（実施例：福祉サービスの情報提供や見学同行、相談支援事業所への繋ぎ、成年後見人制度の利用、買い物等の外出同行等）
- ・退院後の地域生活の支援のため、適宜、医療機関や相談支援事業所等と連携して、保健師・精神保健福祉士が相談、訪問を実施した。

## (7) 行政サービス等における配慮

### ○職員研修及び窓口等における配慮

- ・ 障害者差別解消法についての新入職員向け研修の実施に加え、全職員に対し、筆談セミナーへの参加を促し職員がセミナーに参加した。

## (8) 雇用・就業、経済的自立の支援

### ○米子市役所における障害者雇用率の推移

年度	R3	R4	R5	R6	R7
雇用率	2.85%	2.99%	2.73%	2.91%	2.92%
法定雇用率	2.60%			2.80%	

令和8年7月からの地方公共団体における法定雇用率は3.0%に引き上げとなる

## (9) 教育の充実

### ○教育と福祉の連携の取組

- ・ 教育と福祉がお互いに理解し合い、子どもの発達を支援することができるよう、障害児通所支援事業所や相談支援事業所、小学校長、スクールソーシャルワーカーなどをメンバーとする連絡会を立ち上げ、よりよい連携のあり方について検討を行っている。

### ○合同研修会の開催

- ・ 目的 双方の制度などを理解するとともに、より良い連携のあり方を共有する。
- ・ 開催日時 令和7年8月4日
- ・ 場 所 米子コンベンションセンター 国際会議室
- ・ 参加実績 計94名（市立小学校、相談支援事業所、放課後等デイサービス・保育所等訪問事業所など）

## (10) 文化芸術活動・スポーツに親しむための支援

### ○文化芸術活動・スポーツ大会への支援について

#### 「共に生きるアート展 KANSEI12」

開催日：令和7年9月30日～同年10月6日

会場：米子市美術館

	R4	R5	R6	R7
出展数	160点	169点	109点	117点
観覧者数	901名	826名	803名	852名

## 「全日本 Challenged アクアスロン皆生大会」

開催日：令和7年10月13日

会 場：米子市皆生市民プール、プレイパーク周辺

参加者：アスリート 85名、ボランティア 187名

### ○米子市心身障害者福祉センター及び米子サン・アビリティーズについて

- ・自主事業として、スポーツ・文化教室を開催
- ・福祉事業所や教育機関、公民館等に指導員を派遣し、障がい者スポーツの普及、啓発活動を実施。

### ○「東京2025デフリンピック」関係

- ・令和7年8月20日～25日までの間、大会の機運醸成のため、鳥取県内をキャラバンカーが巡回。米子市においては8月21日に市役所本庁舎でキャラバンカーを歓迎するセレモニーを実施。
- ・10月24日、市役所本庁舎1階に寄せ書き用の国旗を設置し、米子市出身のハンドボール男子日本代表の小林優太選手への応援メッセージを募集し、11月12日の壮行会で小林選手に応援メッセージ入りの国旗を贈呈。

## 2 第7期米子市障がい福祉計画・第3期米子市障がい児福祉計画

### ○主な障がい福祉サービスにおける現状と課題

#### 【就労継続支援B型】

- ・令和7年度、新規事業所開設を計画している事業者から市に意見書の作成依頼があり、米子市・日吉津村障がい者自立支援協議会での検討を踏まえ、市の意見書を作成。
- ・引き続き、新規開設、定員増を希望する事業者について注視していく。

#### 【共同生活援助】

- ・今年度、日中サービス支援型グループホームの開設が2事業所あり、今年度内にあと1事業所が開設予定である。
- ・日中サービス支援型グループホームにおいて重度の障がいのある方や行動障がいのある方の入居が進んでいくのか注視していく。

#### 【計画相談支援】

- ・令和7年度に米子市内の相談支援事業所において、相談支援専門員が4名増員された。
- ・その結果、計画相談支援の利用調整に要する時間が短縮されつつある。
- ・新年度においては複数の相談支援事業所が新規開設を予定している。

### **【放課後等デイサービス】**

- ・令和7年度、新規の事業所開設が5件あり、定員が70名増（2事業所は児童発達支援の定員を含む）となっている。
- ・放課後等デイサービスの利用希望は、引き続き多い状況のため、新設事業所においてもほぼ定員に達している状況である。